

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	スポーツ振興協働化事業							事業コード	100601650102					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	238	頁
計画期間	開始年度	昭和56年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	スポーツ振興協働化事業振興協働化事業補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・本市とスポーツ協会の協働による市民スポーツの支援や全国規模の大会誘致をすすめる。 ・本市が実施するスポーツ振興施策を共に進め、市民スポーツの活性化や生涯スポーツを普及し本市のスポーツ振興を促進することを目的とする。					
対象者	(一財)福知山市スポーツ協会・全市民		対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,377		9,770		10,045		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		10,377		9,770		10,045		0						
予算財源内訳	① 一般財源	10,377		9,770		10,045		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 40		441										
	② 配当予算	10,337		10,211										
	③ 執行額	9,806		10,211										
	④ 執行率	94.9%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.24	/	0.00	0.15	/	0.20	/						
	② 概算人件費	1,920		1,760										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,726		11,971										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	スポーツ主催事業参加者数	人	307	/	2000	1353	/	2000	1918	/	2000
	スポーツ教室参加人数	人	126	/	500	1402	/	500	2874	/	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	スポーツ主催事業開催数	回	3	/	8	5	/	8	7	/	8
	単位あたりコスト		2867.0		1961.2		1458.7				
	スポーツ教室実施種目	種目	1	/	16	19	/	16	14	/	16
		単位あたりコスト		8601.0		1089.6		729.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 ¹ の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市のスポーツ振興の目的を共有して実施していくためにスポーツ関係団体を総括するスポーツ協会の役割は大きく必要性は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	令和3年度からはスポーツ協会のもつ組織力やノウハウを活用して市委託事業の受託などの財源確保にも努めているが、安定した事務局運営には一定の補助金も必要である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・市民スポーツの振興に向けては、加盟団体が円滑な事業運営を行うことが必要であり、加盟団体主催事業の実施など市民スポーツ振興の取り組みを実施した。 ・各団体を総括するスポーツ協会の担う役割は本市のスポーツ行政の中心でありその有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施においては、加盟団体をはじめスポーツ協会が中心的な役割を担い事業を円滑に進めている。 ・スポーツイベントの実施にあたり、熱中症対策も講じ、安心・安全な事業運営のための経費や取り組みが必要となる。 ・市民のスポーツに関する調査分析の定期的な実施を行う必要がある。 ・スポーツ教室は、コロナ禍の影響も落ち着き、多くの市民が参加し、生涯スポーツの振興が図れている。		
改 善 策	・本市のスポーツ関係団体の統括や、市民スポーツの普及等、スポーツ協会の果たす役割は大きく、本市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」-はじめる・つづける-スポーツを推進するため、更なる市との協働により取組みを進めていく。そのためには、事務局の安定した運営のための支援は必要であるが、民間資本の活用なども含め財源の確保に努め、福知山市は政策立案、スポーツ協会は実行組織として役割分担し、お互いが協議・連携し進め、総合的に市のスポーツ振興を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	スポーツ推進委員会事業										事業コード	100601650103			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	238	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	スポーツ基本法、福知山市スポーツ推進委員に関する規則														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、市民のスポーツへの感心を高め、幅広いスポーツ活動への助言、指導を行い、本市のスポーツを推進することを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,442		3,058		3,058		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		3,442		3,058		3,058		0		
予算財源内訳	① 一般財源	3,442		3,058		3,058		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	△ 79		△ 15						
	② 配当予算	3,363		3,043						
	③ 執行額	3,361		3,011						
	④ 執行率	99.9%		98.9%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.32	/	0.00	0.21	/	0.20	/		
	② 概算人件費	2,560		2,240						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,921		5,251						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	派遣講習受講者数	人	464	/	1200	994	/	1200	855	/	1200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	講師派遣回数	事業	24	/	50	48	/	50	40	/	50
		単位あたりコスト	72.5		70.0		75.3				
	広報誌発行回数	回	2	/	2	3	2	/	2	2	/
			869.5		1680.5		1505.5				スポーツ推進委員会事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	スポーツ指導派遣依頼も多く、障害者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、市民のニーズは高い。また、令和5年度から委員数が1名増え、26名体制での活動を行っている。 スポーツ基本法に基づいた委員であり委員の設置は必要である。 令和5年度は、40回の講師派遣を行い、市民に対して、生涯スポーツの推進を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	スポーツの基礎的・専門的な指導や助言を市民に行うことで、スポーツの普及、高揚に効果的である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	市民のスポーツ活動の入口として、市民も取り組みやすく有効性は高い。 令和5年度は、市民歩け歩け大会やスポレク大会など主催大会の実施や公民館等の地域団体、児童館、高齢者団体に対しスポーツ推進委員を派遣しスポーツ指導を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市民の幅広いニーズに応じた派遣指導に応じることのできる更なる体制の構築が必要である。 ・市民のスポーツ活動の活性化に向けてスポーツ推進委員の市民への周知が課題。 ・指導者が固定されている。 ・若手の参入が必要である。 ・依頼されるスポーツの種目や、依頼者が固定されている。 ・スポーツ推進委員がスポーツ推進のインフルエンサーとして活動する機会を創出する必要あり。		
改 善 策	・市民の多様なニーズに対応できるよう、障害者スポーツの振興に関する取組みを積極的に企画・立案・実施をする。 ・スポーツ推進委員の指導スキルの向上のため研修会等へ派遣する。 ・スポーツ推進委員の公募など外部の新たな人材を取り入れ組織を活性化させる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ少年団育成事業										事業コード	100601650104		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり					
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	濱口 大輔					
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	238・239	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	—													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流と少年スポーツの振興と青少年の健全育成を目的とする。				
対象者	スポーツ少年団	対象者数	860	単位あたりコスト	3.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	130		130		130		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		130		130		130		0						
予算財源内訳	① 一般財源	130		130		130		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 35										
	② 配当予算	130		95										
	③ 執行額	95		92										
	④ 執行率	73.1%		96.8%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.17	/	0.00	0.15	/	0.65		/					
	② 概算人件費	1,360		3,020										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,455		3,112										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	団員数	人	604	/	860	395	/	860	448	/	860
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	助成単位団数	団	30	/	37	22	/	37	23	/	37
	単位あたりコスト		4.4		4.3		4.0				
	広報誌の発行	回	1	/	1	5	/	1	1	/	1
			132.0		95.0		92.0				

スポーツ少年団育成事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団及び近隣市町のスポーツ少年団とも連携した事業を実施し、スポーツを通じた青少年の健全育成をはじめ指導者の育成など少年団活動の効果は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	登録料や大会参加料などを主な財源として運営している。また、登録各団も会費等による自主的な活動であり効率性は高い。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	少子化により、団員は減少傾向にあるもののスポーツの普及や青少年の健全育成に取り組む団体として有効性は高い。 令和5年度は、剣道:2団、少林寺拳法:3団、野球11団、バレーボール:2団、ミニバスケットボール:4団、ラグビー:1団の計23単位団の活動を支援した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・少子化の影響やスポーツの多様化により、団員数や登録単位団は減少傾向にあり、指導者養成も重要な課題であるが、団員間の交流や指導者の養成等に取り組んでいる。 ・引き続き少年団の認知度を高め、単位団相互の交流等、スポーツ少年団活動をより促進することが重要である。		
改 善 策	・広報誌の発行や、交流大会の開催、指導者養成などにより加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設け組織を活性化する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	生涯スポーツ推進事業										事業コード	100601650105			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	239	頁
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生涯スポーツ社会の実現に向けて、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ振興を図ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,256		10,374		10,374		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		3,256		10,374		10,374		0						
予算財源内訳	① 一般財源	3,256		7,674		7,674		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		2,700		2,700		0						
決算情報	① 流充用額	703		△ 322										
	② 配当予算	3,959		10,052										
	③ 執行額	3,945		6,689										
	④ 執行率	99.6%		66.5%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.30	/	0.00	0.25	/	0.20	/						
	② 概算人件費	2,400		2,560										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,345		9,249										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	生涯スポーツ推進事業基金繰入(ふるさと納税基金)		種類	基金繰入金		実績金額	2,567		決算附属資料	41		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	スポーツ教室受講者数	人	126	/	500	1402	/	500	2874	/	2500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	スポーツ教室実施種目	種目	1	/	16	9	/	16	14	/	16
	単位あたりコスト		2928.0		438.3		477.8				
	ニューススポーツ物品貸出件数	件	8	/	50	720	/	50	16	/	50
	単位あたりコスト		366.0		197.3		418.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	スポーツ振興に関する事務的経費が中心であり必要である。 スポーツ推進計画の目標達成にむけ必要である。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	必要なコストの削減を行い事業を進めている。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	関連事業を円滑に行うために必要である。 スポーツ教室の参加者が増加しており、多くの市民が参加し、生涯スポーツの振興に有効である。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・本市のスポーツ振興施策を展開していくための事務的経費であり、関係各事業の実施にあたっては、スポーツ協会をはじめとした関連団体と強固に連携することが必要である。 ・ニュースポーツの貸し出しについては、より多くの市民に周知し、利用の促進を行うことが課題である。		
改 善 策	・関係事業と連携しコストの削減を意識した事業を展開する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減			
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)			

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	四都市スポーツ大会事業										事業コード	100601650107			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	239	頁
計画期間	開始年度	昭和27年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。(四都市スポーツ大会趣旨)					
対象者	四都市スポーツ大会参加者		対象者数	500	単位あたりコスト	6.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (大会当番市への負担金交付)					
委託先・実施主体等						
事業概要 (箇条書き)	・北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)のスポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。 ・競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 19競技23種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。 ・第70回大会から、大会名称を「四都市スポーツ大会」に変更した。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容			
	報償費	78	トロフィー			
	需用費	20	消耗品費			
	使用料及び賃借料	78	会場使用料			
	負担金補助及び交付金	415	大会負担金、選手激励負担金			

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,779		779		779		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,779		779		779		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,779		779		390		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		389		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 149		△ 107										
	② 配当予算	1,630		672										
	③ 執行額	1,557		591										
	④ 執行率	95.5%		87.9%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.35	/	0.00	0.25	/	0.20	/						
	② 概算人件費	2,800		2,560										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,357		3,151										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	参加者数(市)	人	-	/	690	399	/	690	529	/	690
	総合順位	位	-	/	1	-	/	1	1	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	実施競技数	競技	-	/	19	16	/	19	16	/	19
	単位あたりコスト		0.0		97.3		36.9				
	単位あたりコスト		/		9		/		/		四都市スポーツ大会事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、京都府北部地域で行う数少ない社会人の大会として認知されている。本大会の開催により府北部の競技団体の連携の機会ともなっている。 ・令和4年度は、春は福知山市が当番市として三年ぶり、冬は綾部市が当番市として四年ぶりに開催した。なお、福知山市が当番市であった、第70回大会からは、大会名称を「四都市体育大会」から、「四都市スポーツ大会」へと変更をした。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・京都府北部におけるスポーツ振興と競技力向上など有効な事業である。 ・新型コロナウイルス感染症によって失われた、交流の場の創出としても、有効な事業である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・京都府北部におけるスポーツ振興・競技力向上と四市の親睦を図る大会として、歴史を積み重ねており、市民にも定着している。各市のスポーツ施設も老朽化しており、会場の確保のほか大会日程等も今後の課題である。 ・競技によって、人数がそろわない市もあるため、各競技の見直しも課題となってくる。 ・冬季大会については、会場の積雪不足、競技人口の減少が課題。 ・71回を数える歴史の中で市民や各競技関係者の四都市スポーツ大会に関わる志も変貌してきている。市民や競技者のニーズに即した大会とするため、四市担当者間で検討している。 ・令和6年度より新たにデモンストレーション競技としてゴルフ競技が追加された。		
改 善 策	・長年の実施により定例化しているが、国体予選など他大会も同時期に開催されているため、選手確保が困難な競技もあり、実施競技・分散開催も含めた実施時期や会場等、現在の状況に応じた見直し等について、四市で検討する。 ・時代に即した大会として実施できるよう時期、会場、種目等について四市担当者にて検討を実施		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山マラソン大会支援事業							事業コード	100601650109					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	濱口 大輔							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	239	頁
計画期間	開始年度	平成3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山マラソン交付金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の一大イベントであり、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を支援することで、大会を通じた地域の活性化を図ることを目的とする。					
対象者	市民、マラソン大会参加者、応援者		対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	24,000		14,000		14,000		0			
	② 補正予算	3,173		8,231		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		27,173		22,231		14,000		0			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	12,737		14,831		7,600		0			
	② 国支出金	436		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	14,000		7,400		6,400		0			
決 算 情 報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	27,173		22,231							
	③ 執行額	27,173		22,231							
	④ 執行率	100.0%		100.0%							
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	1.05	/	0.00	0.55	/	0.65			/	
	② 概算人件費	8,400		6,220							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,573		28,451							
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	地域スポーツ活動推進事業助成		種 類	雑入		7,852		49	頁
						実績金額					
								決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	参加者申込人数	人	604	/	5000	3888	/	11200	3420	/	6000
	RUNET大会レポート評価点	点	-	/	100	78.8	/	100	74.5	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	事務局会議開催回数	回	3	/	12	9	/	12	9	/	12
	単位あたりコスト		2566.7		3019.2		2470.1				
	単位あたりコスト		/		11		/		福知山マラソン大会支援事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・全国有数のフルマラソン大会として、市内外に認知されており、他のイベントによる代替はできない。 ・全国のランナーからの認知度も高く観光・宿泊など大会を取り巻く環境への効果からも必要性は高い。 ・福知山市内の多くの団体の協力を得なければ実施できない事業であり、市で実施する意義は大きい。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・参加料や協賛金を主たる財源として運営しているが、令和4年度、5年度においては参加者数の減少により、例年に比べて市の負担が大きくなった。 ・ふるさと納税の返礼品としてマラソンの出走権を出品し、これまでとは異なる財源の確保に努めた。 ・実行委員会を組織して運営することで、民間に近いコスト感覚を持ちながら迅速な事務執行ができています。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標は参加者申込人数の定員を満たすこととしているが、全国的にマラソン参加者数が減少している中、本市も参加者数が定員に満たなかった。 ・参加者申込人数を増やすために、本市内の大型ビジョンや京都サンガF.C.ホームタウンデーにおける広報、直前までのエントリー受付など従来の取組みを継続するとともに、SNSを利用した広報や、他大会へ出向いて周知に努めた。 ・他大会の動向を常に参考にしながら、大会の運営に向けた検討を進めており、また、外部資源として、参加料や協賛金の獲得に努めている。 ・検討会議を設置し、参加者獲得策などについて、意見を聴取した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・全国的なマラソン参加者の減少の流れの中、本市においても参加者数が大きく減少したが、歴史を重ねた大会でもあり、「安定感のある運営」や「ボランティア・スタッフの対応が良い」など評価は高い。 ・参加者数が大きく減少した場合は、参加料収入も減少することとなるため、収支の均衡を取り戻すかが今後の課題である。		
改 善 策	・第31回からは「再始動(Re:Start)」を前面に打ち出し、1991年の第1回大会に立ち返ることで、再度大会の基盤を高めていくこととしたが、引き続き、大会の基盤を高めるため、さまざまな方面から意見を聴く福知山マラソン検討会議を立ち上げ、参加者の獲得について意見を伺った。 ・福知山市以外の多くの地域でもマラソン大会が開催されるようになる中で、より「競技性」の高い大会を目指し、他の大会と異なる独自性を持たせることで、新規ランナーの獲得を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	スポーツ振興事業								事業コード	100601650111					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいがづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進							施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	濱口 大輔							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	239	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ振興事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	全国規模の大会等の誘致・開催、京都府民総合体育大会への選手派遣の支援、京都サンガF.C.のホームタウンに係る活動等を通じて、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民の「みる」「ささえる」スポーツ大会を創出し、更なるスポーツ振興に加え全国各地から選手等が来福することにより地域活性化に資することを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,750		3,454		4,000		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		3,750		3,454		4,000		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,250		1,154		4,000		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	2,500		2,300		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 113		38										
	② 配当予算	3,637		3,492										
	③ 執行額	2,401		3,470										
	④ 執行率	66.0%		99.4%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.53	/	0.00	0.45	/	0.65	/						
	② 概算人件費	4,240		5,420										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,641		8,890										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	スポーツ振興事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)		種類	基金繰入金		実績金額	1,900		決算附属資料	35		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	主催大会参加選手・役員数	人	784	/	3000	1353	/	3000	1768	/	3000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	補助対象大会数	回	3	/	10	7	/	10	9	/	10
	単位あたりコスト		351.7		343.0		385.6				
	主催事業大会数	回	3	/	8	13 ⁵	/	8	9	/	8
		単位あたりコスト	351.7		480.2		385.6				スポーツ振興事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・大規模大会の開催は、市民のスポーツを「みる」機会の提供に繋がるため、競技団体を通じた大会誘致は必要である。 ・京都サンガF.C.は京都府唯一のJリーグチームであり、ホームタウンデーにおいては、本市市民であれば優待価格で観戦できるため、市民のみるスポーツの促進につながる。 ・市が支援することによる大会誘致により宿泊や観光などへの波及効果は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・大規模大会の開催にあたっては参加料の他、財源の多くは主管団体の自主財源(参加費、協賛金等)によるものである。 ・全国各地から多くの参加者が本市を訪れることによる経済効果も期待できる。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標は、本市主催事業をすべて実施した際に想定される参加人数としているが、適切に把握を行っており、測定されている。(現在集計中)	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・令和5年度は、ソフトテニス日本実業団リーグをはじめ、9大会へ補助金を交付し、主催事業として9大会を開催した。 ・9月には、サンガスタジアム by KYOCERAにて、京都サンガF.C.の福知山市ホームタウンデーを開催し、観光協会と連携した特産物のブース出店や、本市スポーツ少年団のスタジアム内行進、大型ビジョンでの本市PR動画放映など、本市のPR活動を行った。 ・ハイレベルな大会を本市で開催することは、市民のスポーツへの関心を深めることに加え、全国大会等に出場することのできるトップアスリートの育成や指導者の養成にもつながるため、継続的に本市で開催ができるよう、各競技団体との連携に加え、施設・設備をはじめとした受け入れ態勢の整備が必要である。		
改 善 策	・大規模スポーツ大会開催の誘致や継続開催に向けて競技団体等との連携を強化するとともに、各種スポーツ施設の整備や維持管理を実施する。 ・京都サンガF.C.のホームタウンとなっていることを活用し、京都サンガF.C.との連携事業について検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ賞表彰事業							事業コード	100601650131					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	240	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ賞基金条例、福知山市スポーツ賞に関する規則													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	全国大会等で活躍した競技者の栄誉を称え、競技力の更なる向上とスポーツの普及・振興を図ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	172		172		172		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		172		172		172		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	172		172		172		0				
決算情報	① 流充用額	△ 58		0								
	② 配当予算	114		172								
	③ 執行額	63		69								
	④ 執行率	55.3%		40.1%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.21	/	0.00	0.12	/	0.20	/				
	② 概算人件費	1,680		1,520								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,743		1,589								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	スポーツ賞表彰事業基金繰入(スポーツ賞基金)		種類	基金繰入金		実績金額	68	35	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	受賞者件数	件	2 / 5		3 / 5		3 / 5		/ 5		5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	候補者照会先	団体	21 / 20		47 / 20		47 / 20		/ 20		20
	単位あたりコスト		2.7		1.3		1.5				
	単位あたりコスト		/		15 /		/		/		スポーツ賞表彰事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・全国大会等で優秀な成績を挙げた選手を顕彰する事業であり、選手や競技団体の意識の向上が期待でき、その意義は大きい。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業の性格上、受益者(受賞者)に負担を求めるものではなく、受賞者の栄誉を顕彰するものであり妥当な水準である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	市内の競技者の栄誉を顕彰することで、競技者意識や競技力の向上にも有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・表彰対象者に漏れがないよう、対象者把握のための情報収集を徹底する。 ・令和5年は3件(個人)の受賞者があった。 ・団体等の受賞があった場合、盾等の数が多くなるため、予算は確保しているが、個人のみを受賞であったため、執行率が50%以下となった。		
改 善 策	・様々な新競技、大会が実施される中で、賞の価値を維持するため、事前の調査を徹底し、選考において基準がぶれないよう慎重に議論を行う。 ・障害者スポーツなども含め幅広い選考となるよう取り組む。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	チャレンジデー実施事業							事業コード	100601650152					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	240	頁
計画期間	開始年度	平成31年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	—													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	チャレンジデーを実施することにより、スポーツの習慣化や住民の健康増進、スポーツ実施率の向上、地域の活性化を図る。 スポーツやアクティブシティの取り組みを市民に周知し、アフターコロナにおけるスポーツや健康づくりの啓発及び機運を醸成する。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算	280		280		2,036		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		280		280		2,036		0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	280		280		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		2,036		0		
決 算 情 報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	280		280						
	③ 執行額	125		268						
	④ 執行率	44.6%		95.7%						
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.53	/	0.00	0.40	/	0.20	/		
	② 概算人件費	4,240		3,760						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,365		4,028						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	チャレンジデー参加率	%	0	/	0	45.8	/	51	51.1	/	51
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	チャレンジデーイベント参加団体	団体	0	/	0	15	/	15	16	/	20
	単位あたりコスト		0.0		8.3		16.8				
	講演会参加者数		/		17		/		/		チャレンジデー実施事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・健康で心豊かに暮らせるアクティブシティの推進を図り、本市の「みる・する・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進」の取り組みを促進させるため効果的である。 ・対戦相手等、他市町村が想定されるため、民間事業者が行うのは難しい。 ・市民にスポーツの習慣化の意識を醸成させるための取り組みとして、効果的に周知ができる事業であり、目的への達成手段として適切である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・全国のチャレンジデーの取組みを活かした事業を実施するものであり、効率的である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・チャレンジデーは、全市をあげたイベントとして実施してきており、全国一斉の実施は終了したが、それを生かした新しい取組みとして行うものであり、投入資源に見合ったものとなる。また、講演会の実施については、福知山市スポーツ協会とも協働で行い、集客等を行っていくため、成果目標は適切である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・チャレンジデーというイベント自体が市民の間に少しずつ浸透してきており、本市のすすめる「みる・する・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進」に寄与することができており、今後その枠組みを生かし、継続的に実施していく。 ・全国一斉のチャレンジデーが終了したため、新たな取組みとしてのチャレンジデーや講演会の周知を工夫する必要がある。		
改 善 策	広報、PR活動を強化しチャレンジデーの周知を図ることや、講演会の実施により、アクティブシティの実現に寄与する取り組みとする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	体育施設維持管理事業										事業コード	100602650323			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	02 体育施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	240	頁
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画			R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	体育施設の適切な維持管理により、市民ニーズに即した安心・安全なスポーツ環境を提供する。					
対象者	全市民		対象者数	76,000	単位あたりコスト	1.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	106,304		87,490		83,208		0						
	② 補正予算	25,656		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		131,960		87,490		83,208		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	125,209		81,274		76,975		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	6,751		6,216		6,233		0						
決 算 情 報	① 流充用額	127		5,209										
	② 配当予算	132,087		92,699										
	③ 執行額	121,696		90,306										
	④ 執行率	92.1%		97.4%										
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.28	/	0.00	0.25	/	0.65	/						
	② 概算人件費	2,240		3,820										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		123,936		94,126										
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)		特財名称	市民運動場野球場ネーミングライツ料		種 類	雑入		実績金額	2,200		43	頁		
			三段池公園ネーミングライツ料(文化・スポーツ振興課)			雑入			2,200				決算附属資料	43
			市民運動場野球場広告料収入			雑入			211					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	指定管理施設利用者数	人	190977	/	540000	324275	/	540000	311546	/	540000
	(R3より三段池、長田野スポーツ施設を加算)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	指定管理施設数	施設	12	/	12	12	/	12	12	/	12
	単位あたりコスト		8996.4		10141.3		7525.5				
	(R3より三段池、長田野スポーツ施設を加算)		/		19		/		/		体育施設維持管理事業
			単位あたりコスト								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・体育施設の適正かつ安心・安全な利用に向けて必要な事業であり、主要施設は、指定管理者制度を導入し民間事業者により運営している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	指定管理者制度により、効果的・効率的に運営している。 ネーミングライツによる収入の確保に努めている。(SECカーボンスタジアム、ラビハウスフィールド、三段池公園科研電機テニスコート)	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・利用者数も指定管理者により適正に把握されている。 ・ネーミングライツの導入により財源確保に努めている。 ・適切な維持管理により利用人数の増加を図るため、施設利用者数を成果指標としている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市内に点在する多くのスポーツ施設の老朽化が進んでおり、修繕費用がますます増大するおそれがある。 ・優先順位により施設の必要な改修、修繕を実施しているが、今後は、更に修繕等が必要となり、財源の確保が課題となる。		
改 善 策	・施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用について検討し、本市スポーツ推進計画及び公共施設マネジメントに基づいた計画的で効率的・効果的な施設の維持管理を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	体育施設設備整備事業										事業コード	100602650337			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	濱口 大輔						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	02 体育施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	240・241	頁
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画			R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	体育施設の維持保全と機能充実により、施設利用者の利便性と安全性の向上を図ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	38,733		63,388		33,000		0						
	② 補正予算	△ 2,433		△ 6,000		0		0						
	③ 繰越予算	9,038		△ 1,270		12,000		0						
	前年度繰越	19,768		10,730		12,000								
	次年度繰越	△ 10,730		△ 12,000										
小計(①～③)		45,338		56,118		45,000		0						
予算財源内訳	① 一般財源	5,623		10,535		13,400		0						
	② 国支出金	0		0		14,000		0						
	③ 府支出金	0		788		0		0						
	④ 地方債	12,100		18,300		17,100		0						
	⑤ その他特財	27,615		26,495		500		0						
決算情報	① 流充用額	△ 127		△ 2,211										
	② 配当予算	45,211		53,907										
	③ 執行額	33,493		45,545										
	④ 執行率	74.1%		84.5%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.28	/	0.00	0.22	/	0.20	/						
	② 概算人件費	2,240		2,320										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,733		47,865										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	体育施設設備整備事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		実績金額	18,438		38	頁		
			体育施設設備整備事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)			基金繰入金			1,691				決算附属資料	39
			広域的スポーツ施設充実支援事業費補助金			教育費府補助金			750					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	所管体育施設利用者数	人	205637	/	570000	353510	/	570000	316904	/	570000
	(R3より三段池・長田野公園のスポーツ施設を含む)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	改修・修繕実施施設数	事業	3	/	2	2	/	3	3	/	3
	単位あたりコスト		5239.0		16746.5		15181.7				
	単位あたりコスト		/		21		/		/		体育施設設備整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	多様化するスポーツニーズに対応した機能向上と、施設老朽化に伴う維持保全は必要性が高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・改修工事等の執行にあたっては、競争入札等を採用し、競争の原理のもと適正に実施している。 ・対象とする施設についても福知山市スポーツ推進計画及び福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき優先順位により選定している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	施設整備により、利用者の利便性の向上と安全確保を図ることができるとともに、機能性向上による大規模大会の誘致にも有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市内に点在する多くのスポーツ施設の老朽化が進んでおり、修繕費用がますます増大するおそれがある。 ・優先順位により施設の必要な改修、修繕を実施しているが、今後は、更に修繕等が必要となり、財源の確保が課題となる。		
改 善 策	・施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用について検討し、本市スポーツ推進計画及び公共施設マネジメントに基づいた計画的で効率的・効果的な施設の維持管理を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--